



進路ニュース

令和4年夏季面談号
藤代高等学校進路指導部



1 これからの大学に関する文部科学大臣メッセージ（要約）

（生徒たちに対して）

- ・今後5年後、10年後に向けて、入試において文系・理系の区別なく広く深い学びが評価されるようになるなど、大学が大きく変わっていくこと
- ・これからの時代、理系は「男の職場」と言った固定観念はなくなっていくことから、自分自身が興味を持つ分野、得意な分野を徹底的に追求し、自らの可能性を広げてほしいこと

（保護者に対して）

- ・特にIT系の人材は2030年に最大79万人も不足するという予測もあるなど、理工系学部を卒業した学生は男性、女性を問わず産業界でも強く求められること
- ・「女子は文系」といった固定観念から離れ、子供たちの幅広い選択を支えてほしいこと

（令和4年5月25日付）

5年後、10年後なら自分の大学入試には関係ないじゃん、と思うかもしれませんが、わざわざ大臣がこんなメッセージを発信するという事は、みなさんが大学を卒業する頃には、大学だけでなく社会全体がこう変わっているということです。みなさんは今後40年以上（！）も、社会に出て働いていくことになると思われるので、よく考えて進路選択をしてください。

2 2022年入試のトピックス

（1）北関東国立大学工学部の偏差値低下

4図が示すとおり、茨城・宇都宮・群馬各大学の工学部が従来より下位の受験者層から合格者を出すようになりました。

宇都宮大学工学部は進研記述模試で偏差値43で合格率70%でした。茨城大学も偏差値43では合格率52%で、合格する可能性の方が高いです。そして下限を見ていくと偏差値37でも4人に1人は合格しています。

群馬大学に至っては偏差値35以下でも5人に1人は合格しています。理系のみなさんは強気で行きましょう。

4 首都圏及び近隣の国立大学（工学系統）難易検証 ～2022年度入試結果 進研模試記述回（7・10月）総合集計～



入試年度	2022			2022			2022			2022			2022					
	埼玉大			茨城大			宇都宮大			群馬大			新潟大			信州大		
学部	工<前>		合格率															
69	合格	不合格	合格率															
67	2		100%										1		100%			1
65	3		100%						100%				2		100%	5		100%
63	9	2	82%	4	1	80%	2		100%	6		100%	11	4	73%	6	1	86%
61	8	2	80%	2		100%	3		100%	7		100%	17	4	81%	14	5	74%
59	12	7	63%	8		100%	4		100%	14		100%	27	3	90%	21	10	68%
57	27	13	68%	23	2	92%	14		100%	17	1	94%	54	19	74%	35	15	70%
55	24	13	65%	23	3	88%	30	2	94%	37	3	93%	82	18	82%	41	24	63%
53	35	20	64%	36	5	88%	37	1	97%	44	7	86%	69	45	61%	46	31	60%
51	25	19	57%	63	13	83%	54	4	93%	49	12	80%	68	55	55%	37	42	47%
49	26	15	63%	47	23	67%	49	6	89%	56	23	71%	65	70	48%	28	54	34%
47	13	11	54%	52	22	70%	69	15	82%	29	37	44%	57	80	42%	21	41	34%
45	8	24	25%	53	26	67%	46	18	72%	32	57	36%	26	58	31%	9	37	20%
43	4	18	18%	35	32	52%	33	14	70%	24	46	34%	10	46	18%	9	23	28%
41	1	11	8%	12	24	33%	12	27	31%	6	37	14%	7	36	16%	3	9	25%
39		5		8	21	28%	4	21	16%	3	25	11%	2	17	11%	1	6	14%
37		7		3	9	25%	1	9	10%		10		2	16	11%	1	6	14%
35		3			4			11		3	12	20%		5			3	

（2）私大は二極化

2021年入試は右図のとおり**帝京大学が全学部定員割れ**するなど、都内の私大の志願者が激減しました。「帝京大ほどの有名大学がだめならそれより下はどうなってしまおうんだ」という声が聞こえてきました。

2022年入試もその傾向は変わらなかったようでした。それどころか、例の学歴フィルター事件（「大東亜以下」ってやつ）

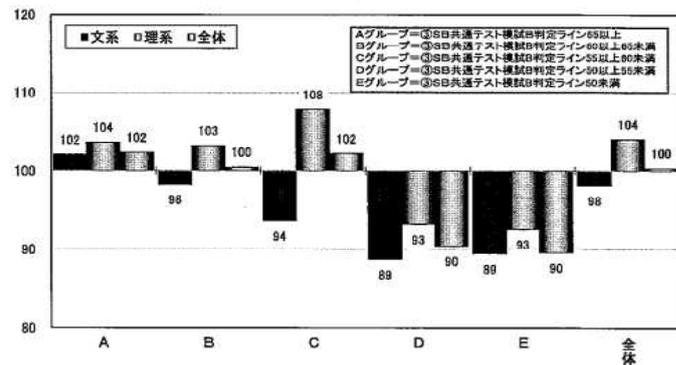
帝京大学 方式別入学者数

	定員	入学者	一般共テ	総合型	学校推薦	指定校	付属	その他
医学部	116	115	103	-	12	-	-	-
薬学部	320	292	217	38	25	9	3	-
経済学部	1570	1407	413	541	84	176	80	113
法学部	475	412	137	144	28	67	29	7
文学部	741	646	217	258	38	52	24	57
外国語	300	294	49	107	10	112	7	9
教育学部	330	310	128	96	44	17	14	11
理工学部	265	239	163	21	8	29	7	11
医療技術	910	857	314	216	200	101	26	-
福岡医療	340	299	96	68	25	108	2	-

のせいもあってか22図のとおり、Aランク（早慶上智レベル）、Bランク（MARCHレベル）、Cランク（日東駒専レベル）の大学群が志願者を増加させる一方、それ以外の大学群は志願者減となり、二極化してしまいました。

その結果、定員割れした大学は前年の31%→今年では46.4%と大きく増加しました。

とはいえ、**みなさんが行ってもいいと思うような私立大学は志願者増**ということですから。引き続き、厳しい入試が続くと思われます。



(3) 女子大も倍率低下

下表のとおり、女子大の倍率低下が著しく、最難関の**津田塾が倍率1.4倍**です。14人中10人が合格ですよ。以前と比べると隔世の感です。日本女子大や昭和女子大も倍率1倍台の学部があり、高校入試並みの倍率です。予備校の人が「いずれも有名女子大ですので、これ以上偏差値表のランクは下げられない状態なのですが、実際は驚くほど下の偏差値帯からも合格していますよ。」とっていました。

180 昭和女子大、津田塾大、東京女子大、日本女子大 入試結果



大学	学部	日程	学科	方式	募集人員	志願者		受験者		合格者		割増率	実質倍率			記述模試集計合格者平均SS		
						'22年度	前年比	'22年度	前年比	'22年度	前年比		'22年度	'21年度	'20年度	'22年度	前年差	
昭和女子大	グローバル	共			87	834	124%	△	775	122%	227	79%	261%	3.4	2.2	5.6	60.4	-0.1
			人間社会	26	371	128%	△	371	129%	206	176%	792%	1.8	2.5	6.1	59.5	-2.1	
	国際	共			198	1821	108%	△	1683	105%	575	116%	290%	2.9	3.2	4.1	57.5	-1.3
			人間文化	36	574	82%	↓	573	82%	297	141%	825%	1.9	3.3	4.1	59.9	-2.8	
	食健康科	共			139	971	83%	↓	888	81%	667	135%	480%	1.3	2.2	4.3	57.0	-2.9
			環境デザ	38	552	71%	▼	550	71%	275	94%	724%	2.0	2.7	4.0	58.5	-3.3	
	環境デザ	共			114	762	83%	↓	694	81%	534	114%	468%	1.3	1.8	2.4	56.5	-2.0
環境デザ			22	348	67%	▼	347	67%	213	88%	968%	1.6	2.1	2.5	60.0	-2.4		
津田塾大	学芸	共			116	1153	100%	△	997	98%	266	75%	229%	3.7	2.8	3.8	57.4	0.3
			総合政策	18	339	73%	▼	337	74%	124	89%	689%	2.7	3.3	2.7	60.3	-2.4	
東京女子大	現代教養	共			116	855	118%	↑	779	119%	347	118%	299%	2.2	2.2	3.6	55.4	-1.6
			総合政策	16	280	102%	↑	278	102%	126	108%	788%	2.2	2.3	4.0	57.5	0.4	
日本女子大	文	共			300	1383	95%	△	1319	97%	824	107%	275%	1.6	1.8	2.1	58.9	-2.0
			人間社会	80	1723	113%	↑	1723	115%	1245	149%	1556%	1.4	1.8	2.0	61.8	-3.2	
	理	共			40	352	99%	△	323	98%	119	99%	298%	2.7	2.8	3.8	62.8	0.3
			家政	10	258	100%	△	258	100%	148	161%	1480%	1.7	2.8	3.0	64.0	-4.4	
	理	共	423	5098	129%	△	4861	130%	2479	119%	586%	2.0	1.8	2.4	58.9	-1.1		
家政	共	142	3228	111%	↑	3208	111%	1591	115%	1320%	2.0	2.1	2.6	61.9	-1.2			
理	共	193	1793	110%	↑	1709	109%	971	106%	503%	1.8	1.7	2.0	61.2	-0.6			
家政	共	35	901	107%	△	900	107%	652	120%	1863%	1.4	1.6	2.1	61.0	-0.8			
理	共	258	2364	99%	△	2255	97%	859	103%	333%	2.6	2.8	2.7	62.0	0.6			
家政	共	26	1055	83%	↓	1055	84%	335	95%	1288%	3.1	3.6	2.7	62.9	0.4			
理	共	86	611	123%	△	599	125%	374	98%	435%	1.6	1.3	2.3	54.6	0.0			
家政	共	27	494	129%	△	494	130%	255	119%	944%	1.9	1.8	3.5	57.5	0.0			
理	共	253	1480	109%	△	1429	108%	496	103%	196%	2.9	2.8	3.6	59.0	-2.8			
家政	共	34	779	123%	△	767	123%	236	110%	694%	3.3	2.9	4.1	59.1	-2.3			

3 学年別のアドバイス

(1) 3年生へ

- ① 第一志望を貫き、科目を絞らないようにしましょう
- ② 英検2級をとろう

① 乱暴な言い方をすると、共通テストで5教科7科目を50%（大学によっては40%台でも）得点することが国公立大学合格への条件です。それに対して私立大学は3教科すべてで70~80点とらないと合格できません。1つでも取りこぼしたらアウトというのが私大入試です。年度当初の進路希望調査では国公立大学志望者が過半数でしたが、例年この時期になると「やっぱり科目の少ない私大にしようかな。」という生徒が現れます。「私大の過去問を解いてみたら半分くらいはできたので、もう少しだ」と思うようですが、できた半分の問題は基本レベルの問題です。ここからさらに点数を稼ぐには応用レベルの難問を正解していかなくてはなりません。それは本人が思う以上に茨の道です。共通テストで30点を50点にするのと、私大の入試問題で50点を70点にするのでは第三者の視点で見ると、前者の方がはるかにやさしいです。

今年の共通テストの結果を見ると、**藤高生の数学の最下位は数ⅠA、数ⅡBとも8点**でした。その最低点をとった本人が「合格体験談」の日に語っていたので再掲しますが、共通テストは7科目もある

ので、苦手科目があっても**他の科目で1問か2問ずつ多く得点できれば十分合格**可能です。その卒業生も無事に国立大学に合格しています。ですから今の時点（なんなら試験当日まで）で苦手科目があっても決してあきらめないで第一志望を貫いてください。

②英検2級を取得しておく日東駒専や大東亜帝国レベルのほとんどすべての大学、それどころか、明治学院大学や獨協大学といった外国語をウリにしている大学でさえも、入試で**英語の試験を免除**してくれたり、**英語の得点を80%保証**してくれたりする制度があります。

右表は「2（2）私大は二極化」で志願者増したランクの某大学における藤高生の英語の入試結果です。表の左端が得点です。英検2級取得者は80点ももらっていて、そうでない生徒との得点差は歴然としています。これを見て想像がつくと思います。卒業生の話によると、英語の問題の難易度は「私大の入試問題>共通テスト>英検2級」の順に難しいそうです。まだ英検2級を取得していない人は（1、2年生も）、10月の英検をがんばりましょう。

3時限目	科目	外部試験
39.0	(英語)	
80.0	(英語)	*
80.0	(英語)	*
80.0	(英語)	*
42.0	(英語)	
80.0	(英語)	*
80.0	(英語)	*
80.0	(英語)	*
52.0	(英語)	
52.0	(英語)	
80.0	(英語)	*
59.0	(英語)	
80.0	(英語)	*
59.0	(英語)	
80.0	(英語)	*
59.0	(英語)	
80.0	(英語)	*
80.0	(英語)	*

(2) 2年生へ

- ① 自分の志望校を決めよう
- ② 修学旅行が終わったら受験勉強をはじめよう

①部活動の練習とかを想像してください。「とにかく『よし』って言うまで走れ」と言われて走ると「グラウンド10周」のようにゴールをあらかじめ知って走ると、どっちが楽でしょうか？結果的に同じ距離を走ることになったとしても、**ゴールが決まっている方がずっと楽**に走れると思います。勉強も同じです。ですから仮でいいので、とにかく志望校を決めてみてください。本当に行きたい志望校が出てきたら、その時、志望校変更すればいいのです。また、一人で走るよりは**友達と一緒に走る方がずっと楽**だと思いませんか？友達は代わりに走ってくれるわけではないのに、自分だけではないとわかると、なぜか楽になります。だから一緒に勉強する仲間を作ったらいいと思います。同じ時間・同じ場所で勉強しなくても、今はいろいろアプリ等があるので、classiとかで学習時間を競ってみたりするのもおすすめです。「**受験は団体戦**」というのは本当ですよ。同じ志望校の人と一緒に学習できたら最高ですね。

②毎年、ほとんどすべての進学校の先生が言う台詞に、「**修学旅行が終わってすぐに受験生になった生徒は第一志望校に合格できる**」というのがあります。そして3年生の冬にその話についてどう思うかを質問すると「今思い返してみると、そのとおりだ」と卒業生たちは毎年答えます。

今年も一人でも多くの2年生が受験生になってくれることを期待しています。

(3) 1年生へ

- ① 文理分けをよく考えよう
- ② 前期（夏休み前）のやり残しを清算しておこう

①これまた3年生の冬に、「人生をやり直すとしたらどこからやり直したい？」という質問をすると、「**1年生の文理分け**」という意見が大変多いです。卒業生の話では、「1年生の時は、卒業後の進路は遠い先の話で、実感がないままコースを決定してしまったけれども、後から考えるとあれが一番大きかったと思う。」とのこと。文系に進んでしまってから、独学で物理や生物の勉強をして理系の大学を受験するのは大変です。理系から文系に行くのも同様です。ゆめゆめ「英語が苦手だから」とか「数学がわからないから」とかの消極的な理由で選ばないように。3年生へのアドバイスにあるとおり、苦手科目があってもなんとかなり。特に、1年生なら克服する時間も十分にあります。自分が将来やりたいことを考えて進路選択してください。

② 入学してから3ヶ月ですが、授業で分からないことはありませんか？**たった3ヶ月のこと**ですから、今ならいくらでも挽回可能です。夏休みのうちに先生に分からないところを聞いておきましょう。